

独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所
〒666-0153 兵庫県川西市一庫字唐松 4-1
TEL:072-794-6671 (代表) FAX:072-794-1908

一庫ダムのできごと

Monthly Report
on November 2018

- ユーザーや地域の方々のニーズに応じた的確な施設管理を行います。
- 地域への積極的な情報発信と交流により、信頼関係を構築します。
- チームワーク力を高め、管理所職員全員による効率的な施設管理運用と環境保全に取り組みます。

水がささえる豊かな社会



独立行政法人
水資源機構

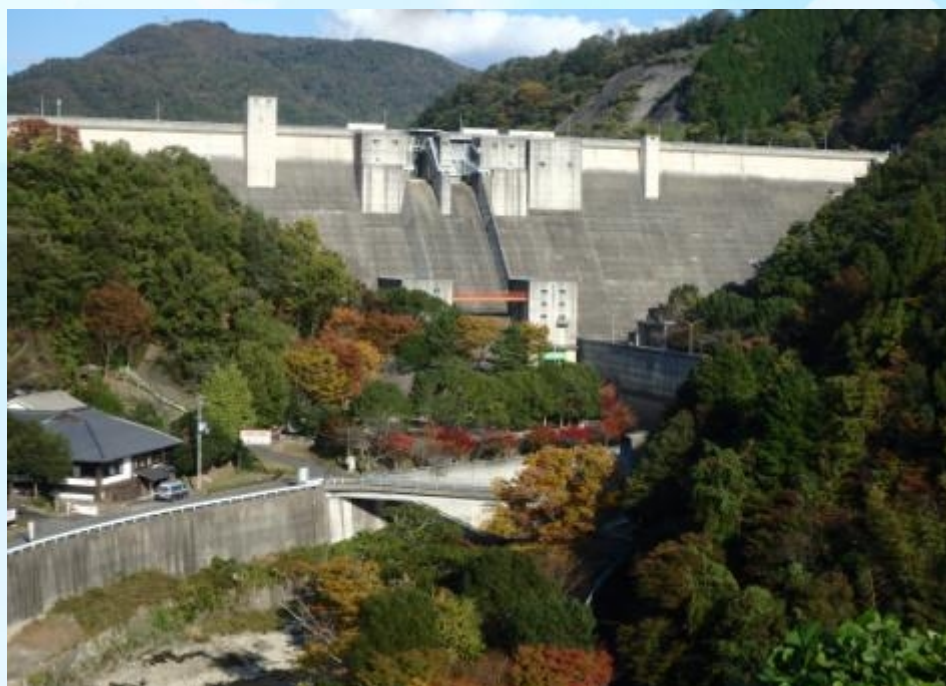
一庫ダムのできごと

Periodical Report on November 2018

Index

- | | | | |
|---|--------------|----|----|
| 1 | 今月の概況 | P. | 1 |
| 2 | 水管理の状況 | P. | 2 |
| 3 | 施設管理、環境保全の状況 | P. | 7 |
| 4 | 気象及び流況（速報値） | P. | 9 |
| 5 | 今月のトピックス | P. | 10 |

TOPIX



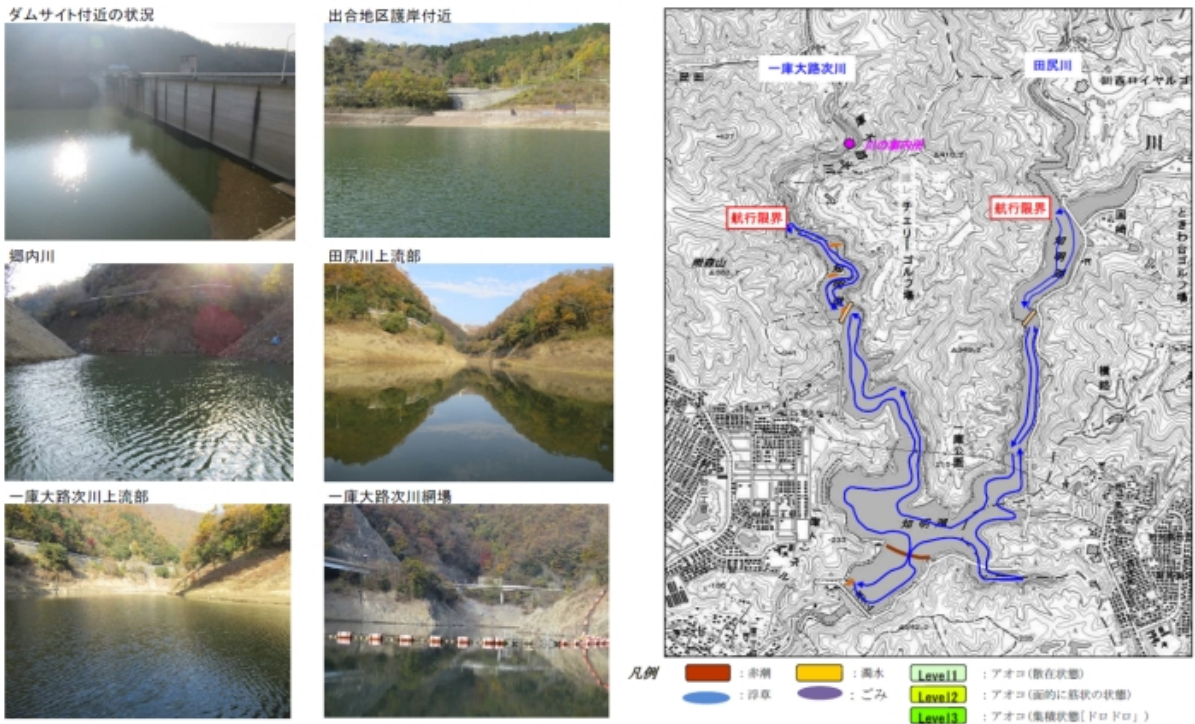
一庫ダム周辺紅葉（撮影日：11月6日）

1 今月の概況

① 概要

11月の月雨量（ダム流域平均雨量）は、11mmと平年（72mm）より非常に少ない雨量となりました。

貯水池では、アオコ・淡水赤潮とも確認されていません。また、浮き草も、ほとんど見られません。



貯水池におけるウキクサ等の分布状況（平成30年11月28日）

※浮き草参考写真



ヒメウキクサ



コウキクサ

（参照「日本の水草」）

② 防災態勢

11月は防災体制を執りませんでした。

2 水管理の状況

① 雨量、貯水池状況、流況

11月の月雨量（ダム流域平均雨量）は11mmで、平年（72mm）の15%となり非常に少ない雨量でした。

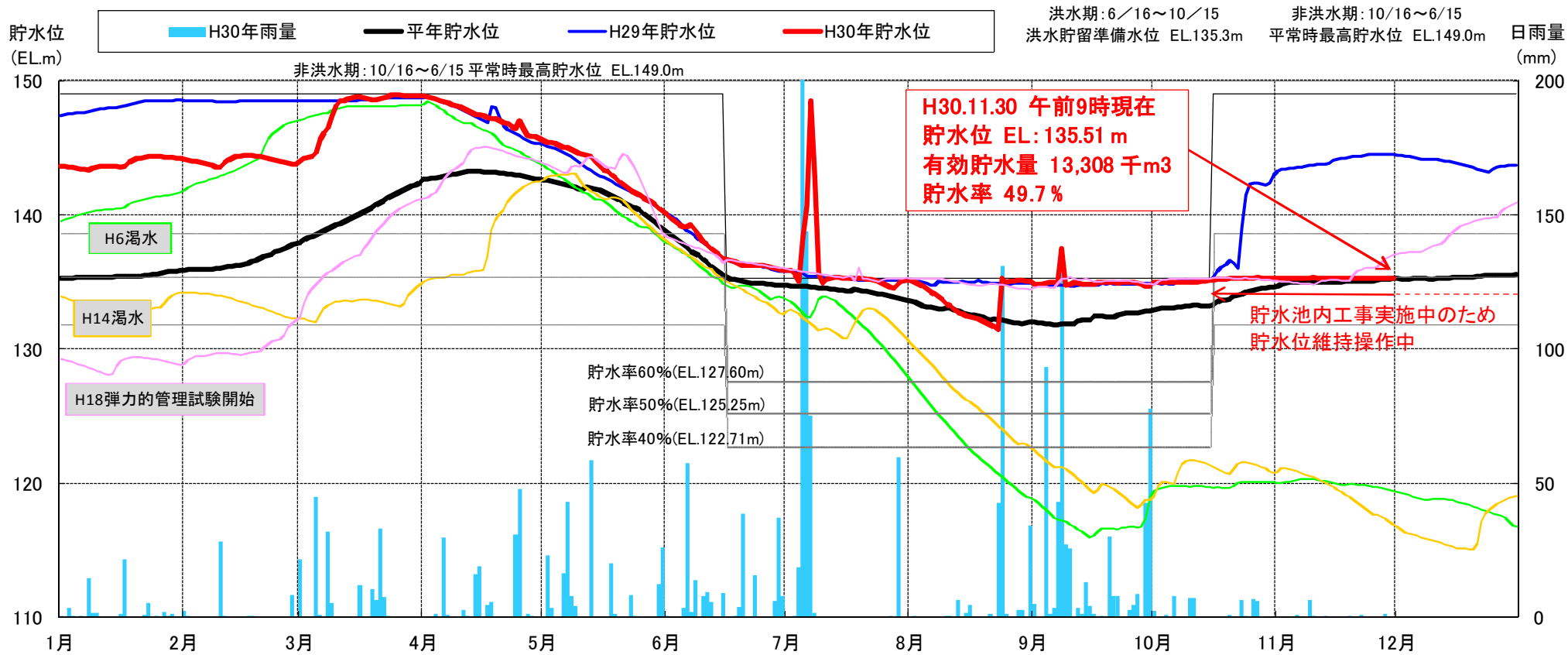
貯水池の状況は、今年度は貯水池内で工事を実施する予定ですので、貯水位は引き続き洪水貯留準備水位 EL. 135.30m 前後で管理しています。

一庫ダムの下流河川の状況は、少雨傾向であったものの、河川流量が確保量を下回ることはなく、一庫ダムから利水基準点虫生へ利水補給する必要はありませんでした。

11月のダム下流の利水基準点の流量、ダムがなかった場合の想定流量の表とグラフを次ページ以降に示しています。

一庫ダム 主な渇水年と近年の貯水位状況図

H30. 11. 30
9時現在



月別雨量表

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間雨量(mm/年)	渇水規模
平年雨量	48	65	105	108	156	203	194	146	195	126	72	53	1,469 (平年比)	
昭和61年	6	15	158	126	193	213	315	45	40	78	14	72	1,275 (87%)	3位 (630)
昭和62年	37	48	91	38	150	193	275	66	134	136	57	19	1,244 (85%)	
平成6年	28	57	26	125	92	122	63	48	130	40	39	30	800 (54%)	1位 (7,850)
平成7年	47	16	64	64	339	150	360	68	69	82	72	14	1,345 (92%)	
平成12年	55	22	109	69	104	176	48	46	289	155	160	22	1,254 (85%)	4位 (390)
平成13年	106	74	74	25	139	185	72	180	137	165	41	26	1,226 (83%)	7位 (60)
平成14年	71	14	105	142	133	94	105	66	105	111	47	62	1,056 (72%)	2位 (4,690)
平成15年	81	65	125	181	109	214	236	254	140	59	202	35	1,699 (116%)	
平成16年	14	54	74	126	261	166	40	267	213	318	59	131	1,721 (117%)	5位 (300)
平成25年	60	93	51	91	57	187	131	127	409	184	67	76	1,532 (104%)	
平成26年	46	55	173	92	100	67	95	620	74	167	46	81	1,615 (110%)	6位 (140)
平成27年	128	38	148	148	127	197	408	210	199	43	154	109	1,909 (130%)	
平成28年	59	95	78	154	186	281	89	190	433	110	74	117	1,866 (127%)	
平成29年	67	57	72	151	69	153	219	184	171	428	46	56	1,672 (114%)	
平成30年	55	40	175	161	225	218	629	229	533	45	11		2,321 (158%)	

※上水取水制限実施月: 10% 20% 30% 40% (月内最大値)
 ※平年雨量及び平年貯水位は、昭和58年~平成29年の平均である。

※貯水位は日平均値、雨量は流域平均値である。
 ※渇水規模は、上水取水制限率 * 制限日数により算出。(% ・ 日)

利水基準点（虫生）の流況とダム補給効果（平成30年11月）

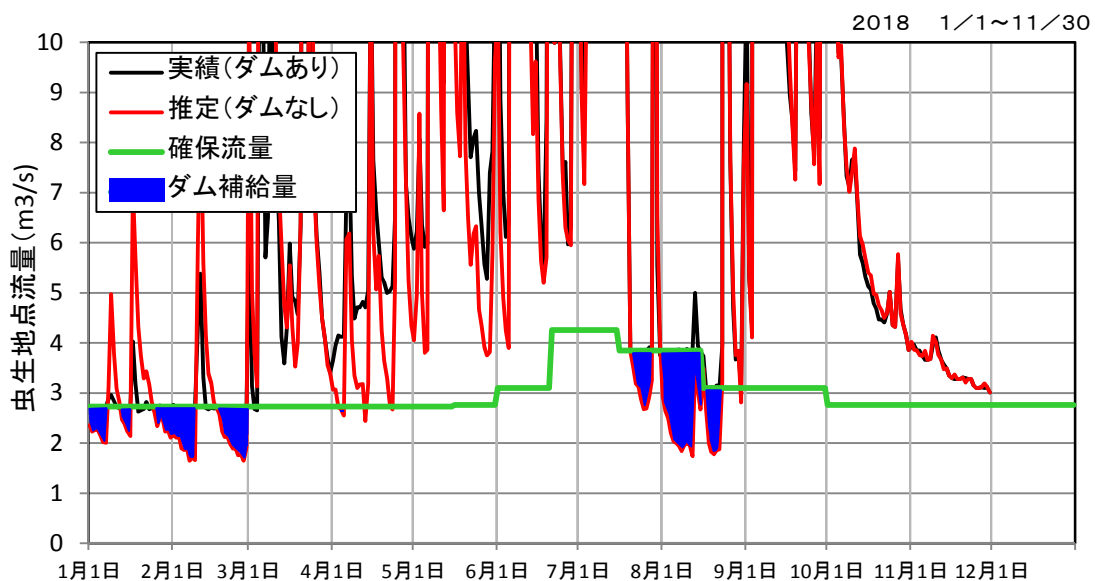
月日	一庫ダム		利水基準点（虫生地点）流量			ダム補給あり・なし	ダム補給効果量（推定） m ³
	ダム流入量 m ³ /s	ダム放流量 m ³ /s	実績（ダムあり） m ³ /s	推定（ダムなし） m ³ /s	確保流量 m ³ /s		
11月1日	1.59	1.50	3.93	4.02	2.76	補給なし	0
11月2日	1.44	1.53	3.96	3.87	2.76	補給なし	0
11月3日	1.45	1.45	3.85	3.85	2.76	補給なし	0
11月4日	1.28	1.37	3.85	3.76	2.76	補給なし	0
11月5日	1.31	1.31	3.74	3.74	2.76	補給なし	0
11月6日	1.48	1.30	3.66	3.84	2.76	補給なし	0
11月7日	1.30	1.30	3.66	3.66	2.76	補給なし	0
11月8日	1.32	1.32	3.68	3.68	2.76	補給なし	0
11月9日	1.49	1.31	3.96	4.14	2.76	補給なし	0
11月10日	1.50	1.59	4.11	4.02	2.76	補給なし	0
11月11日	1.34	1.43	3.85	3.76	2.76	補給なし	0
11月12日	1.30	1.30	3.66	3.66	2.76	補給なし	0
11月13日	1.14	1.23	3.57	3.48	2.76	補給なし	0
11月14日	1.18	1.18	3.49	3.49	2.76	補給なし	0
11月15日	1.10	1.10	3.34	3.34	2.76	補給なし	0
11月16日	1.12	1.12	3.30	3.30	2.76	補給なし	0
11月17日	1.19	1.10	3.28	3.37	2.76	補給なし	0
11月18日	1.10	1.10	3.28	3.28	2.76	補給なし	0
11月19日	1.10	1.10	3.28	3.28	2.76	補給なし	0
11月20日	1.13	1.13	3.31	3.31	2.76	補給なし	0
11月21日	1.02	1.11	3.30	3.21	2.76	補給なし	0
11月22日	1.05	1.05	3.28	3.28	2.76	補給なし	0
11月23日	1.05	1.05	3.28	3.28	2.76	補給なし	0
11月24日	1.05	1.05	3.15	3.15	2.76	補給なし	0
11月25日	1.05	1.05	3.10	3.10	2.76	補給なし	0
11月26日	1.00	1.00	3.10	3.10	2.76	補給なし	0
11月27日	0.97	0.97	3.12	3.12	2.76	補給なし	0
11月28日	1.06	0.97	3.10	3.19	2.76	補給なし	0
11月29日	0.98	0.98	3.12	3.12	2.76	補給なし	0
11月30日	0.97	0.97	3.01	3.01	2.76	補給なし	0
合計	—	—	—	—	—	—	0

注) 以下の算定式により求めている。

$$\text{虫生流量（推定（ダムなし））} = \text{虫生流量（実績（ダムあり））} - \text{ダム放流量} + \text{ダム流入量}$$

$$\text{ダム補給効果量（推定）} = (\text{確保流量} * - \text{虫生流量（推定（ダムなし））}) * 86400$$

※：【確保流量】もしくは【実績（ダムあり）】のいずれか小さい方



② 貯水池水質鉛直分布

11月30日9時の鉛直分布を次ページに示します。
表層、底層の水温及び表層のクロロフィルaの値は以下のとおりです。
底層DOは、11月30日9時時点で6.5mg/lを保っています。

10/31 水温 18.7℃(18.3℃)、 CHL9.0 μg/l
11/30 水温 15.3℃(14.9℃)、 CHL16.2 μg/l
()内数値は底層水温

11月は、10月同様例年と比べ小雨で晴れの日が続き、貯水池は濁りや目立った塵芥の浮遊等もなく良好な状況を維持しています。

深層曝気装置の運転は、循環期に入り水質異常の恐れもなくなったことから11月27日13時頃に停止しましたが、底層DOの状況は引き続き監視を続けてまいります。

貯水池の塵芥等については、回収陸揚げ作業は終了しました。

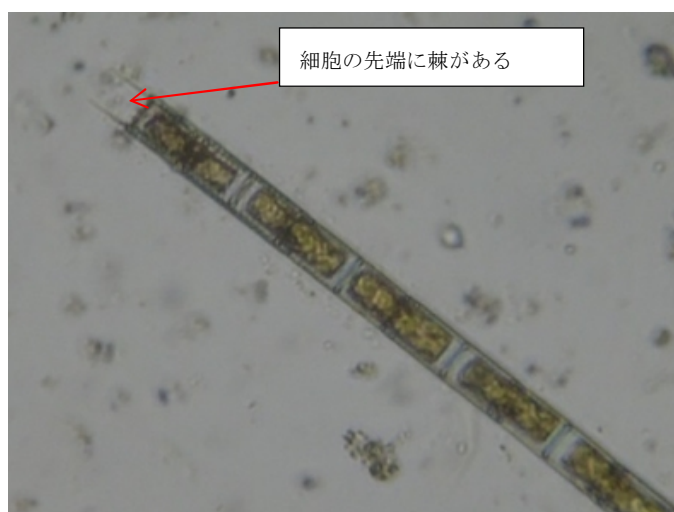
11月のプランクトン優占種について

優先種：アウラコセイラ グラヌラータ（珪藻類）深度0.5m～25m

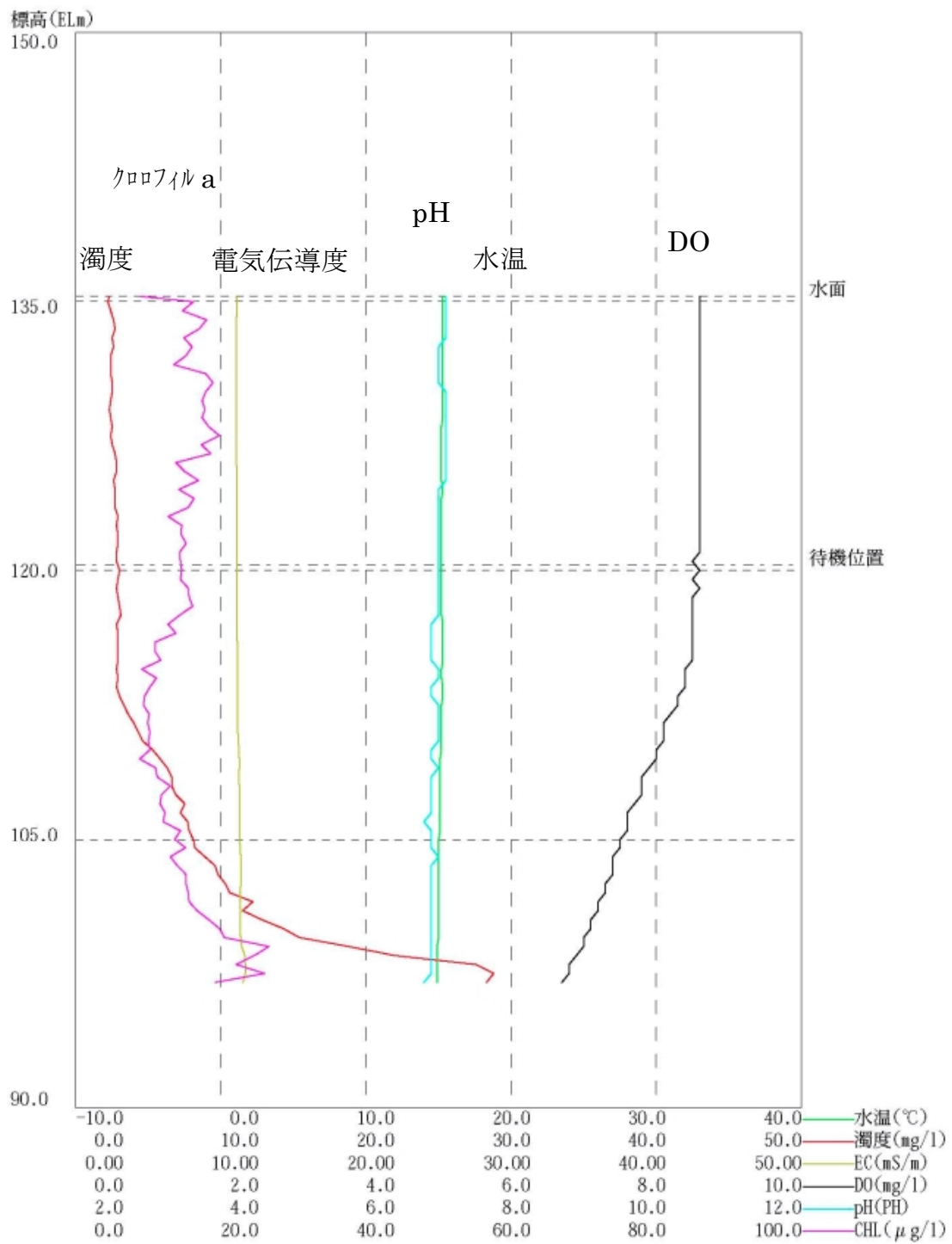
一口罫：アウラコセイラについて（取水深の優占種）

筒状の細胞が連なり、糸状体を形成する。細胞の先端に棘を有する。

一庫ダムでは秋～冬に多い。多発すると茶緑色にみえ、プランクトンネット採集時に目詰まりすることがある。



通常の群体 560倍



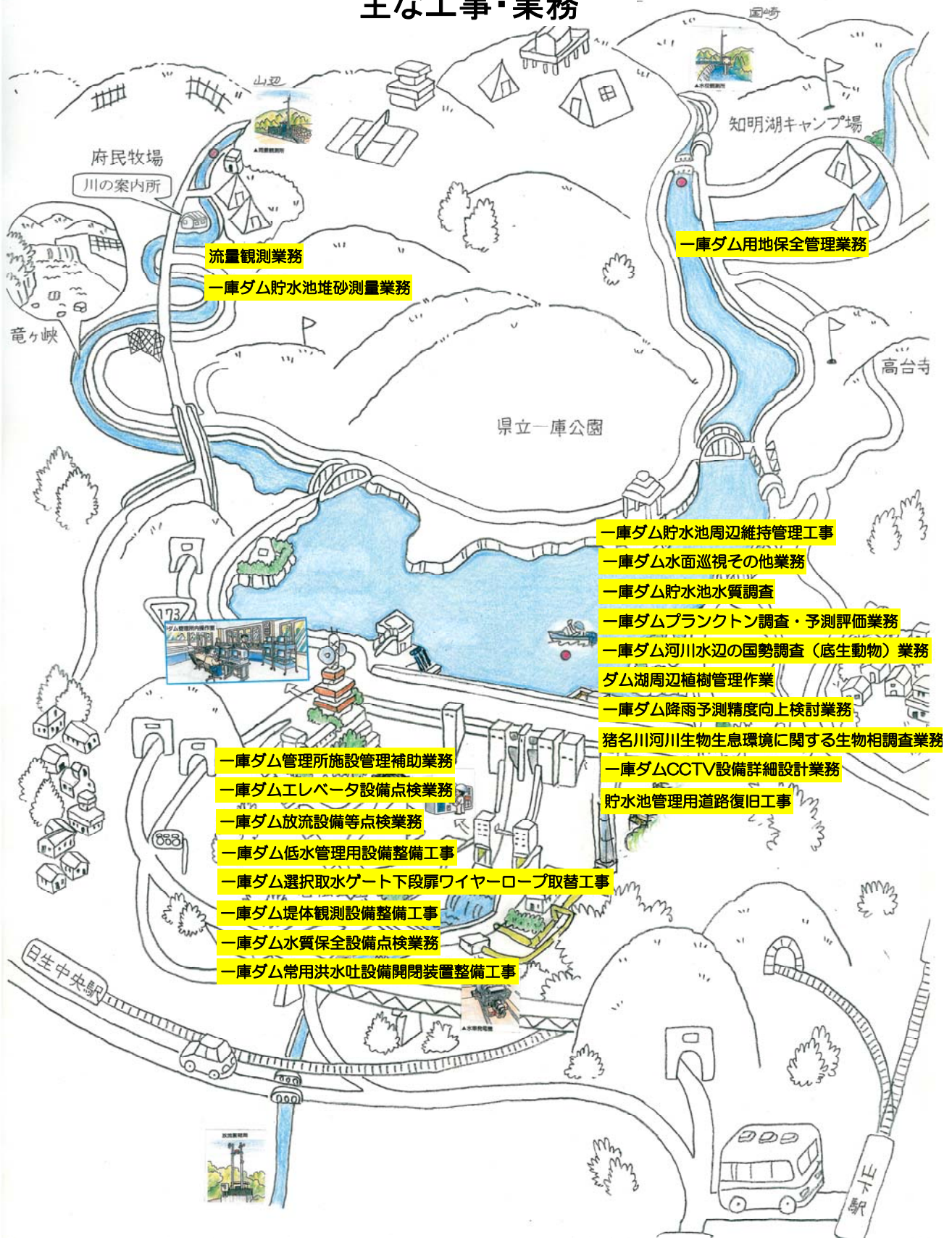
貯水池水質鉛直分布 (平成30年11月30日9時)

※11月30日現在：取水深 15m

3 施設管理・環境保全の状況

- ① 平成30年度の工事・業務関係について、一庫ダム貯水池水質調査、一庫ダム貯水池周辺維持管理工事など21件の工事・業務を行っています（11/30時点）。
- ② 毎月第二月曜日、始業時前ダム管理所周辺の清掃活動を実施しています。
- ③ 毎週月曜日・水曜日、ダム貯水池への不法投棄及び貯水池の水質などの把握のための巡視を実施しています。
- ④ ダム貯水池内の浅層曝気設備は10月31日に、深層曝気設備（浅層併用型）は11月27日に運転を終了しました。停止後から11月30日現在まで巡視および水質計測の結果、プランクトンの増殖等異常は見られていません。

主な工事・業務



2018/11/30現在

4 気象及び流況(速報値)

平成30年 10月の気象						
	気温(°C)			降水量(mm)	日射量(MJ/m ²)	
	上旬	中旬	下旬	月累計降水量	月累計日射量	1日当日日射量
10月	20.4	16.3	14.3	45.3	384.8	12.4
平年値	18.7	16.9	14.6	125.9	338.8	10.9
差	1.7	-0.6	-0.3	平年の36.0%	平年の113.6%	平年の113.8%
※ 最高気温は 10月 6日16時 28.1°C ※ 最低気温は 10月28日 8時 7.7°C (平年値：昭和58年～平成29年)						
平成30年10月の一庫ダム諸量 (10月1日9時時点)				水温(°C)	20.3	猪名川流況
				濁度(mg/L)	58.7	虫生(m ³ /s)
貯水位 (EL.m)	有効貯水量 (千m ³)	流入量(m ³ /s)	50.62	加071/a(mg/m ³)	6.6	最高 331.80
		放流量(m ³ /s)	47.10	pH	6.8	最低 3.66
135.01	13,072	貯水率(%)	98.3	DO(mg/L)	7.7	平均 10.15
平成30年 11月の気象						
	気温(°C)			降水量(mm)	日射量(MJ/m ²)	
	上旬	中旬	下旬	月累計降水量	月累計日射量	1日当日日射量
11月	14.6	11.8	9.4	10.6	274.3	9.1
平年値	12.8	10.7	8.8	72.3	255.6	8.5
差	1.8	1.1	0.6	平年の14.7%	平年の107.3%	平年の107.1%
※ 最高気温は 11月 5日15時 22.4°C ※ 最低気温は 11月24日 6時 1.3°C (平年値：昭和58年～平成29年)						
平成30年11月の一庫ダム諸量 (11月1日9時時点)				水温(°C)	18.5	猪名川流況
				濁度(mg/L)	6.4	虫生(m ³ /s)
貯水位 (EL.m)	有効貯水量 (千m ³)	流入量(m ³ /s)	1.50	加071/a(mg/m ³)	7.7	最高 4.90
		放流量(m ³ /s)	1.50	pH	6.9	最低 2.76
135.31	13,308	貯水率(%)	49.7	DO(mg/L)	8.1	平均 3.48

※ 気温は、一庫ダム地点。上旬・中旬・下旬の各平均値。
 降水量は、流域平均値。日射量は、一庫ダム地点。
 水質は、取水口水位の測定値。
 本表は速報値であり、修正することがある。

5 今月のトピックス

① 河川環境復元に向けた取組に係る意見交換会

一庫ダムでは、かつて大勢の人に親しまれた魅力ある一庫大路次川を復活させようと、猪名川漁業協同組合と協働して、16年程前から河川環境復元に取り組んできました。今年度も、学識経験者、漁協、地元自治体及びNPO等の方々と意見交換を通じて今後の取り組みに活かしていく「一庫ダム河川環境復元に向けた取組に係る意見交換会」を11月1日に開催しました。

当日は、一庫ダム環境担当から「河川環境復元の取り組み」について報告を行い、続いて猪名川漁業協同組合から「最近の河川状況について」ご報告いただきました。また、森下郁子先生（元大阪産業大学教授）からは、生物相が変化する理由や各参加者からの素朴な疑問に答えていただくなど、河川に関わる話題提供に出席された方々も興味深く聞き入っていました。

その後、出席者全員で土砂還元フラッシュ放流[※]として、土砂投入を行っているダム直下を視察しました。河川環境復元対策前の河川状況の写真を見ていただき、以前のような川辺に植生が繁茂した岩ばかりの河川状況とは異なり、土砂が供給されて瀬や淵が形成された現場を目の前に、河川環境の変化を感じていただけたのではないかと思います。

今年は7月豪雨の影響で、ダム下流河川における魚類調査での確認個体数も例年より少ない状況でした。しかし、この意見交換会で頂戴した貴重なご意見を参考にさせていただき、今後の河川環境復元に向けた取り組みによって、再び魚類等が生息しやすい河川環境となるよう、引き続き努めていきたいと思っております。

※) ダム下流河川における底生動物や魚類等の生息環境の改善を図ることを目的とした取り組み



意見交換会の様子



現地視察の様子（ダム直下）

② 黒川里山まつり

11月4日（日）に黒川里山まつりが行われました。会場の1つである知明湖キャンプ場において、パネル、ドローン映像、四季折々のダムの写真などを展示しました。

今年の7月豪雨を解説したパネルでは、一庫ダムの果たした役割を説明し、来訪者に理解を深めてもらいました。

四季の写真の展示では、「季節ごとにダムでの風景がこんなにきれいとは知らなかった」との声をいただきました。

会場では、宮城県女川町からさんま 1,000 匹が無料で振る舞われ、さんまの芳ばしいにおいが、少し離れた当管理所のテントまで漂ってきていました。

多くの方がさんまをもらう列をつくり、近くでは音楽を演奏するグループ、出店で売買する人や川で遊ぶ人など、赤や黄色に色づき始めた里山で思い思いの時間を過ごしていました。お隣のダリヤ園もこの日が最後の開園となり、色とりどりの花が見る人を楽しませていました。



一庫ダムのテントの様子



7月豪雨でのダムの役割を説明



さんまのおいが食欲をさそう



多く来客者でにぎわう会場

③ 屋上開放

一庫ダムでは11月9日に一般駐車場横にあるインフォメーションの一般開放を行いました。展望スペースからはダム直下の川西市が一望できるほか、貯水池周辺の様子も見るすることができます。

一庫ダムに来てくれた人にもっと楽しんでもらいたいとの思いから既存の施設を整備し、一般に開放できるようにしました。開放当初は紅葉が見頃ということもあり、訪れた方たちの多くが眺望を楽しんでいる様子でした。

冬季は凍結の恐れがあるため安全を考慮して閉鎖となりますが、今後も何らかの形で活用していくことになるかと思ひます、ご期待下さい。



屋上からの展望（ダム側）



屋上からの展望（下流側）



屋上スペースの様子



屋上への入り口

④ 里山シンポジウムinひとくら

11月10日（土）に県立一庫公園開園20周年記念行事として、里山シンポジウムinひとくらが一庫公園内ネイチャーセンターで開催されました。

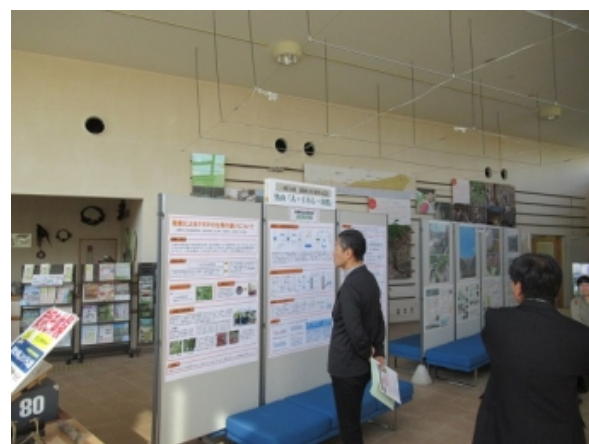
シンポジウムでは、県立一庫公園管理事務所の牛尾所長より開会挨拶と公園の概要等の説明が行われた後、5名のシンポジストより「里山」に関連する話題について発表され、その後パネルディスカッションが行われました。

一庫ダムからは、管理所長がシンポジストとして参加し、「一庫ダムの管理と里山の保全について」の発表を行いました。

また、会場では、関連団体のパネル展示も行われ、一庫ダムからは、四季のダムの写真と平成30年7月豪雨時の防災操作に関するパネル等を展示しました。



発表の様子



パネル展示会場の様子

⑤ 炊き出し訓練の実施

11月14日（水）炊き出し訓練を実施しました。

この訓練は、非常時に職員自らの手で調理する能力を向上させることを目的に実施しています。当日の材料は、当管理所の所長が丹精込めて育てた大根、職員が入手した大阪北部産の新米、近隣で採取した地元産のむかごが支給されました。あとは市販の食材を買い足して、以下の献立で調理しました。

- (1) 豚汁 豚肉1500g、大根、にんじん、きのこ類、里芋、こんにゃくと具たくさんを投入し、大鍋一杯作りました。きのこ類の風味がしっかり効いた風味の豚汁が出来上がりました。
- (2) ふろふき大根 米のとぎ汁と下ゆでしたあと、炊事担当職員秘伝の味付けで丁寧に炊き込み、味噌ベースの餡をかけて食べました。
- (3) 収穫したばかりの大根についている大根菜はしゃきしゃきしておいしいので有効活用しない手はありません。みじん切りにして、白だしとあえた菜飯を作り、残りはベーコンと一緒に強火で炒めて一品料理に仕上げました。
- (4) むかごは薄味の白だしと醤油を味付けに、むかごの炊き込み御飯にしました。

大根については、「腐葉土+魚粉+ダム堆砂土」で作ったもの、「腐葉土+魚粉」で作ったもの、「市販堆肥のみ」で作ったものの3種類を用意し、大根おろしと生大根スライスを試食して味を競う『きき大根』も実施し、味の投票も行いました。

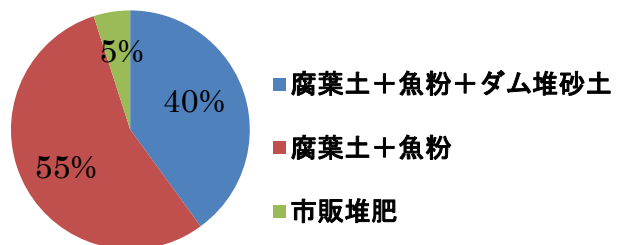
投票結果は、「腐葉土+魚粉」で作ったものが最大の得票を獲得し、「市販堆肥のみ」で作ったものは辛みが多いという結果となりました。

料理後、管理所に勤務する者全員に食べて貰い、用意した料理は全て平らげられました。今後も、献立を変えながら、定期的に炊き出し訓練を実施していきたいと思います。



大鍋で作った豚汁

美味しかった大根は？



きき大根の投票結果

⑥ 一庫ダム周遊マラソン大会

11月18日（日）に37回目となる一庫ダム周遊マラソン大会が行われました。今年7月豪雨等の影響により、ハーフマラソンのコースが変更となりました。

開会式の挨拶の中で、「今大会の実施については、致命（ちめい）的な危機には至りませんでした」と一庫ダムの貯水池である知明湖（ちめいこ（本来はちみょうこ））とかけ、参加者を笑わせていました。当日は、7月の豪雨時とは違って変わって、スポーツの秋にふさわしい最高の天気にも恵まれました。毎日放送の山中真アナウンサーがゲストランナーとして、そして辻沙穂里アナウンサーも来所され会場は盛り上がっていました。

今回は当管理所からも10kmに5名、5kmに2名の計7名が秋空の中を走り抜け、全員完走することができました。

今年、地震、豪雨、台風と災害が多い年ですが、良い天気の中、多くの方が気持ちよく走ることができて本当によかったと思いました。



川西市 越田市長のあいさつ



号砲のもと一斉にスタート



当管理所から7名が参加



ダム堤頂を駆けて行くランナー

⑦ 生物多様性ふるさと川西戦略シンポジウム

11月23日（金）にキセラ川西プラザにて開催されたこのシンポジウムは、日本一の里山といわれる黒川地区の里山をはじめとした川西市のすばらしい自然と文化を次世代に引き継ぎ、持続的に利用するために策定された「生物多様性ふるさと川西戦略」の一環として開催されたものです。

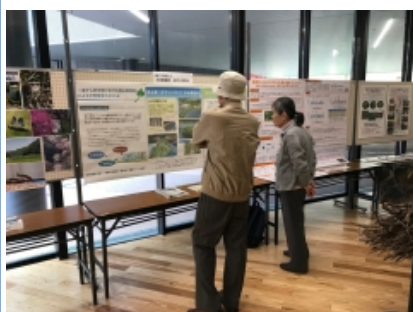
シンポジウムは、兵庫県立大学名誉教授の服部 保先生の講話から始まり、「里山三種の心木」と「川西五木」を選定し、川西市の生物多様性保全を進めるうえでのシンボルとして活用していくことを話されました。また、トークセッション、パネルセッションが構成されており、一庫ダムは、パネルセッションに参加し、「空心菜栽培による水質保全の取組」を展示しました。

環境保全に取り組んでいる方が多かったからか、パネルを見られた方は一庫ダムの以前の水質状況（アオコ、ウキクサ）についてよく知っておられ、水質浄化の効果があって、栄養価も高く収穫量も多いのであれば、一庫ブランドで売り出したら？などご意見をいただきました。

トークセッションでは、第一部が高校生、大学生、第二部が企業の方々のパネリストになり、それぞれ環境保全への取組や研究成果を発表していました。官民一体となり自然環境の保全に取り組んでいけば、将来に向け自然豊かな川西市になる、と希望が持てる実のあるシンポジウムでした。

「里山三種の心木」 クヌギ、エドヒガン、ナラガシワ

「川西五木」 ブナ、コジイ、ユキヤナギ、シロバナウンゼンツツジ、エノキ



パネル展示状況



服部先生の講話



トークセッション

⑧ 東谷市民秋まつり

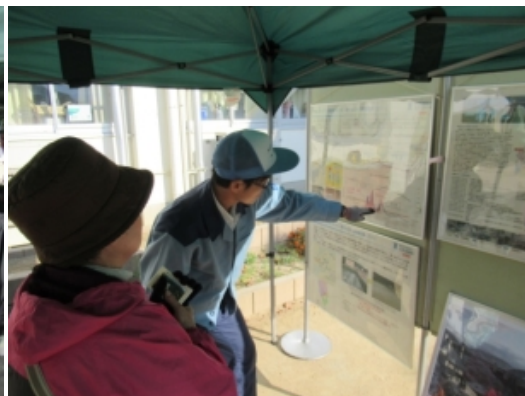
11月25日（日）に東谷市民秋まつりが行われました。会場は、野菜等の販売や植木まつり等の各種イベントが催されました。一庫ダム管理所ブースでは、魚等の展示、ドローンにより撮影した季節ごとの一庫ダム周辺の動画放映、一庫ダムの概要や本年7月の防災操作等のパネル展示を行いました。

秋まつり参加者の多くは、水槽で縦横無尽に動く魚の種類や水槽底部に隠れるうなぎの行方に注視していました。魚の観察だけで終わらないよう、興味のある方には、率先して一庫ダムの概要から役割に至るまで説明しました。熱心に説明を聴いて下さり、質問もされる程でした。最後にパンフレット、オリジナルダムカードを参加者に配布し、参加者から「近くのダムのことが分かってよかった。これからも一庫ダムの目的を達成できるように頑張ってください！」と励ましの言葉を頂きました。

今回のイベントに参加し、近隣住民にダムの有用性を認識して頂けたのではないかと感じております。会話が進むにつれ、相手の目の輝きが増していくように感じたのは私だけでしょうか。



魚類等の説明



一庫ダムの防災操作等の説明



水槽でのうなぎ！



一庫ダム管理所ブース

⑨ 高水操作訓練の実施

今年、管理開始以降最大の雨をもたらした7月豪雨や台風などで一庫ダムでは4回の洪水調節を実施しました。また、近年は降雨強度が強くなってきており、ダムへの流入量も大きくなり、高水操作の頻度が増えるだけでなく、難度も上がっています。このような状況にあって、職員の更なる技術力向上を目指し、シミュレーターによる高水操作訓練を11月30日（金）に実施しました。

この訓練は、水資源機構（総合技術センター）が独自に開発した「ダム操作訓練システム」を用いたパソコン上で行う模擬訓練となります。

このシステムの特徴は、降雨予測を見て立案した放流計画に対し、実績降雨による流入量によって刻々と状況が変わる中で必要な手順を守りつつ、如何に臨機応変に対応できるかをトレーニングできるところにあります。

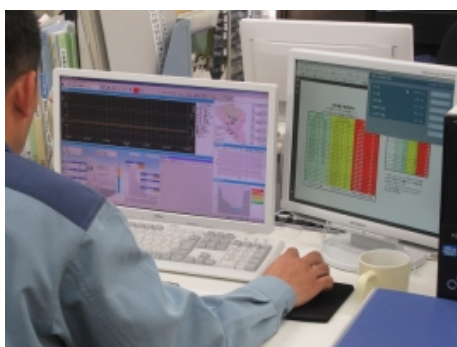
当日は、7月豪雨の雨を再現して訓練を実施しましたが、降雨予測から大きく外れ、一気に流入量が増加してくる7月の防災時さながらの切迫した状況がパソコン上に再現され、操作だけでなく、関係機関への通知や警報・巡視など考える余裕のないほど処理するものが多くあったことを改めて体験しました。7月豪雨時は、巡視班、操作班、予測班などと各自の役割に専念していたため、切迫した中での高度な状況判断が如何に難しいかを改めてこの訓練を通じて体験することができました。



座学



訓練中の様子



システム画面



意見交換

⑩ 一庫探訪記 ～里山の大樹、野間の大けやき～

ダムの上流というと多くの人は険しい山や奥深い森を想像されるかもしれませんが、都市に近い場所に立地する一庫ダムでは上流にも豊かな里山の風景が広がっておりとても魅力的なスポットとなっています。大阪府豊能郡能勢町には樹齢千年を超える伝えられる大けやきが存在しており里山の風景を形作る重要な存在となっています。

『野間の大けやき』と一般に呼ばれるこのけやきの樹は元々ありなしのみや蟻無宮という神社の境内にあり、神木として多くの人たちにとって身近な存在でありました。境内の砂を家や畑にまくと蟻がいなくなる伝承からその名が付いたと伝えられています。けやきの大きさは高さ約30メートル、枝張は東西と南北にそれぞれ約42メートル、約38メートルあり大阪府内では1番、国内では4番目の大きさだとされ国指定天然記念物となっています。

けやきの周囲には小さな歩道が整備され、360度好きな方向からけやきを見ることができるとともに、けやきの歴史や能勢町の名産品を販売する資料館もあり、訪れる人を飽きさせない工夫がなされています。資料館では自然災害などで樹勢が衰えたものの現在はかつての勢いを取り戻しつつあることなどが紹介され、その際切り取られた主幹も展示されており、能勢の人たちのけやき愛に触れることができます。

一大観光スポットというわけではありませんが、週末には大けやきの側で日常の喧噪から離れてゆったりとした時間を過ごしてはいかがでしょうか。

